



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

第70号 令和元年(2019年)10月31日
発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
ボランティアセンターだより編集委員会
〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15
TEL(6848)1000 FAX(6848)1005
URL:<http://www.toyonaka-shakyo-vc.org/>
E-mail:tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアグループ
あれこれ

福祉ビデオ制作ボランティアグループ

「ズームイン」編

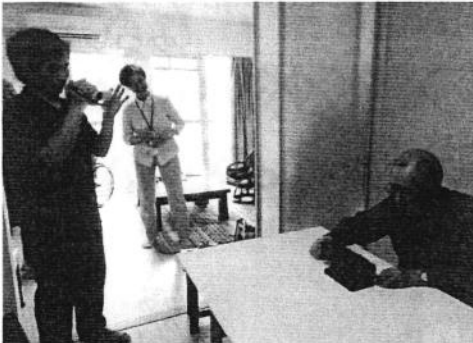
「ズームイン」は、ビデオ映像を通じて多くの人にボランティア活動の内容と実績を知ってもらおうと、「福祉関連ビデオ」の制作を目的として平成4年(1992年)に結成されました。

ボランティアグループや校区福祉委員会の活動・学校でのボランティア体験学習などを取材して、実際の活動内容を紹介するビデオやボランティアフェスティバルや災害支援訓練などの記録ビデオを制作してきました。

市内の障がい者作業所など福祉関連施設を紹介するビデオや、障害福祉課や施設と協力して福祉関連の住民説明会用のビデオ映像も制作しています。

懐かしい過去のボランティアフェスティバルの映像等もDVDで「ぷらっと」に保存されています。DVDの貸し出しも行っていますので、よければぜひ一度ご覧ください。

また皆さんの活動風景を撮影に行くかもしれません、その時はご協力よろしくお願いします。
(ズームイン)



▲ヒストリア(ご高齢者の体験をお話していただき、DVDを作成)の撮影



▲定例会の様子



▲撮影・編集していただいたDVD

◎活動に興味のある方はお問い合わせください。

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター「ぷらっと」
豊中市岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ2階)

☎ 06-6848-1000

☆定例会

日時: 第2火曜日 10時00分~



みちしるべ研修会

市社協登録ボランティアグループ「みちしるべ」は、小学校、中学校でのボランティア体験学習で、車いすやアイマスクの必要性や扱い方について指導、手伝いを行っています。現状のやり方で当事者の実情が分かっているのかという不安があり、今回初めて当事者の方たちから、毎日の生活を通してのいろいろな課題等についてのお話をいただきました。講師は、視覚障害者でスクールサポーターの三上洋氏と、身体障害者の前田大輔氏にお願いしました。

三上氏は、北海道から沖縄まで一人でマッサージ行脚の実行など、多くの体験をされました。この経験から、(1) 度胸、(2) 記憶力、(3) 危険感知力を養うことが重要とのことでした。大阪メトロ駅案内等の紹介もあり、障害者向けの対応も少しずつ進んできています。学校での体験学習では、アイマスクを付けて怖さを感じさせるより手引き体験が重要です。小学校1年から6年生まで、学年毎に6項目の福祉体験をさせるのも良いのではないのでしょうか。



前田氏は、外出時に感じた不便な事等について話してくださいました。東京の地下鉄では、駅員が付き添いで同乗してくれたり、車内放送で障害者の行き先を案内してくれますが、大阪ではあまりサポートが進んでいないようです。新幹線では、車内のトイレが狭く使いづらい。USJでは障害者が乗れない遊具があり、もう少し緩やかなルールがあっても良いのではないのでしょうか。学校の体験学習では、障害者が感じる不便等の具体例を出しながら指導した方が、子どもたちに伝わるのではないのでしょうか。



今回の研修で得られた貴重な情報や知識などを、みちしるべメンバー各人が今後のボランティア活動に大いに活用していきたいと考えています。(みちしるべ)



ボランティアはじめま専科～団塊塾とよなか～

私たち団塊塾とよなかは野菜作りを通じて、仲間づくりとともに、ささやかではありますが出来た野菜を介護施設の方々に収穫してもらい、さらに食して頂き、楽しんでいただけることを目的として活動しております。先般9月25日の定例会に当グループの活動紹介を行うべく、広報とよなかに「ボランティアはじめま専科」として、広報していただいたところ、なんと女性2名が参加され、期待していた以上にご参加いただき、正直驚いたところです。やはり広報活動はやってみるものだった次第です。

当日は、わがグループの活動目的、内容等を説明し、その後取り組んでいる施設まで足を運んでもらい、現地での具体的な作業内容等のご理解をいただけたものと思っております。また参加者の方からも子ども食堂での活動内容等を聞かせて頂く等、有意義な時間を過ごすことができました。今後もこのような機会を通じて、少しでもボランティア活動に興味を持っていただけたらと思っております。

(団塊塾とよなか)



▲定例会に参加



▲活動している施設を見学

私にとってのボランティア ~ボランティア活動手記~

子どもたちの手が放れ、心と仕事以外で何かしてみたいなと思
い考えていた時に、社協の広報に【私でも出来るボランティア】
という記事を見つけました。

早速、社協に電話で問い合わせをしたところ、「明日、定例会
をするので来てみてください」と、おっしゃって頂いたので、早
速出かけて行き、3、4人の会員の方達とお話をさせて頂きまし
た。その時、洋裁が出来るなら是非にと誘って頂いたので、その
場で私にも出来ると思い、入会をさせて頂いて以来、約30年、
楽しい日々を過ごさせて頂いています。



ボランティアイメージキャラクターのボランちゃんの制作にも皆と一緒に参加し作成したり、東
日本大震災の時には、枕の代わりにアジサイマットを作ったり、冬には簡単ベストを作って送った
りと、「小さな手」として出来る事で協力をしてきました。

最近では、介護保険が出来て以来、あまり「小さな手」の作品は利用されなくなり、寂しい思い
をしています。その中でも、食事用エプロンはまだまだ人気で、いろいろなところで活用して頂
いています。それから、寝間着のリフォーム等もいろいろ考えて作っています。

介護者家族の会を支援するという目的のもと出来た「小さな手」なので、年末にはわずかなプレ
ゼントを、あれこれと考え皆と相談をして、一年がかりで作っています。

これからも、「小さな手」として出来る事をしていきたいと思っています。

(小さな手 山口 三恵子)

ボランティアセンターぶらっと ホームページのお知らせ

ボランティアセンターぶらっとのホームページ
では、ボランティア募集の情報や、各ボランティ
アグループについて掲載しています。

また、助成金等のご案内や「ボランティアセン
ターだより」といった発行物のバックナンバーも
見ることができます。

一度、覗いてみてください。

HP アドレス: <http://toyonaka-shakyo-vc.org/>

ボランティアメール 配信中！！

ボランティアメール配信中！

ボランティアメールでは、メールで
ボランティアの講座や関連するイベ
ント情報などをお知らせしています！

【登録方法】

- ①右のQRコード読み取っていただき、
画面の指示に従ってご登録ください。
- ②下記 URL からのご登録いただけます。

URL:

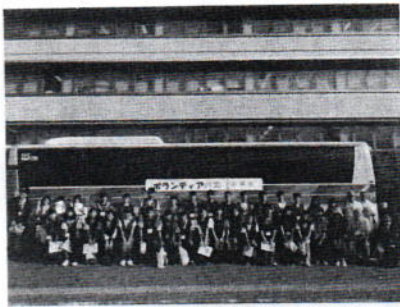
<https://service.sugumail.com/toyonaka-city/>

※登録申込は無料ですが、登録・メール受信
にかかる通信料はご負担ください。



「豊中市社協 ぶらっと」で検索





令和元年度 豊中市社協ボランティアバス ～被災地の今を知る～



令和元年（2019年）8月16日（金）～19日（月）の4日間、帝産観光バス株式会社にご協力いただき、ボランティアバスを運行いたしました。

参加者は市内5校31名（桜塚高校10名、桜塚高校定時制1名、刀根山高校9名、大商学園高校10名、千里青雲高校1名）です。また各高校の先生に引率していただきました。

行先は、岩手県大槌町、陸前高田市。それぞれの町の様子を見学しながら、大槌町では、平野町長による講話、大槌高校との交流。陸前高田市では、復興最前線ツアーによる市内見学、民泊体験といった貴重な経験をしました。

大槌町



大槌町 平野町長による講話



大槌町社協職員による
災害ボランティア学習



大槌高校との交流会

陸前高田市



旧道の駅タピック45に登り、
津波の高さを体感しました。



気仙左官伝承館 館長 武蔵裕子さん
による講話



鎮魂のねがい桜

～ 感想 ～

- ボランティアバスに参加して、災害に強いまちづくりをしなければならぬと感じました。
- 様々な方のお話を聞いて、「若者が行動することの大切さ」を強く感じました。
- 民泊先の方の「いつ何が起こるか分からないから、絶対後悔のないように生きてね」という言葉が印象的でした。
- 今回学んだ命の大切さや災害時の行動などをこれからの自分に役立てたいと思います。



民泊のお別れ会
参加者で民泊先みなさんに歌を
プレゼントしました。

被災地支援

豊中まつり

令和元年(2019年)8月3日(土)、4日(日)に、豊島公園にて、豊中まつりが開催されました。

この豊中まつりに、岩手県陸前高田市、大槌町の方がホタテやカキなどの特産品のそれぞれブースで販売。豊中市社協ボランティアグループやボランティアバス参加者等から数名、販売のお手伝いにご協力いただきました。

ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

▶ 大槌町



◀ 陸前高田市



街頭募金

令和元年(2019年)8月28日から続く前線に伴う大雨災害により、佐賀県に冠水被害等の甚大な被害が発生しました。

そこで、9月13日(金)11時30分~12時30分にかけて、豊中駅きたしん豊中広場にて、令和元年8月豪雨災害支援金の街頭募金を行いました。

市社協災害支援ネットワーク9団体、13名にご協力いただき、44,811円集まりました。

この募金は、佐賀県佐賀市社協へお送りさせていただきました。

ご協力いただき、ありがとうございました。



災害支援に関する研修会を開催します

令和2年(2020年)1月18日(土)の10:30~12:00に、すてっぴホールで災害支援に関する研修を行う予定です。講師に大分県別府市防災推進専門員の村野淳子さんを講師にお招きします。詳細は後日、社協HP等にてお知らせします。みなさまのご参加をお待ちしております。

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災で、豊中市は甚大な被害を受けました。その経験を活かし、震災当時の支援グループで結成した「豊中市社協災害支援ネットワーク」の協力のもと、災害支援訓練を継続してきました。

また、昨年は大阪府北部地震、台風21号災害と豊中市社協で災害支援ボランティアセンターを立ち上げ、多くの方にご協力いただきました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

来年で、阪神淡路大震災から25年。これからもみなさんと一緒に、災害について考え続けていきます。

▶平成29年度
災害支援訓練の様子



▶昨年の災害支援ボラ
ンティアの様子



災害支援に関する研修会

日時：令和2年(2020年)1月18日(土)10:30~12:00(予定) 場所：すてっぴホール

第27回豊中ボランティアフェスティバルを開催します！

豊中市社協ボランティア団体連絡会では、毎年ボランティアフェスティバルを開催しています。このボランティアフェスティバルは、ボランティア団体連絡会加盟グループ間の親睦と、一般市民のみなさまへボランティアについて知っていただき啓発することを目的としています。

今年度は2020年2月15日（土）に、豊中市立文化芸術センターで開催する予定です。ボランティアの方々によるステージ発表、展示コーナー、体験コーナーなどを予定しています。ぜひ、みなさまご参加ください。

※市主催「あすの地域福祉を考える市民のつどい」と同時開催。（小ホールにて午前中のみ開催）



昨年度の様子



▲オープニングの様子



▲ボランティア体験の様子

第27回ボランティアフェスティバル

日時：令和2年（2020年）

2月15日（土）

10時～16時（予定）

場所：豊中市立文化芸術センター

小ホール・多目的室・展示室

OSAKA ボランティア手帳！

「ボランティアに言葉のチカラを…」

～キャッチコピーでこんなにかわる事例と実践！～



大阪府市町村ボランティア連絡会と「OSAKA ボランティア手帳」のコラボ企画として、「ボランティアに言葉のチカラを・・・」～キャッチコピーでこんなにかわる事例と実践！～をテーマの研修に参加しました。講師は、社会貢献広告（株）ユナイテッド・トゥモロー代表で、コピーライターとして多岐にわたる活動と、多くの受賞がある尾関 栄二氏で、広報の成功事例を通してコピーの魅力と可能性について、楽しく判りやすい話を聞くことができました。

後半は10名の実践グループにわかれ、「ボランティア手帳のキャッチコピーをつくろう！」をテーマに、ボランティアだけでなく、一般の人々にも使ってもらえるボランティア手帳のキャッチコピーを、グループごとで考え、提案し、発表しました。各グループとも短い言葉で、ボランティア手帳の魅力を前面に出すという沢山の案が出されました。今回の講演でのキャッチコピーの考え方、作り方を基本に、改めて各ボランティア連絡会から提案されたキャッチコピーを審査検討後に採用作品が決まる予定です。

（みちしるべ）

○「OSAKA ボランティア手帳」とは

…大阪府社会福祉協議会で作成している手帳です。手帳の内容は、カレンダーやボランティアに役立つ情報などです。活動記録等にもお使いいただけます。約2年間使用することができます。

夏のボランティア体験プログラム

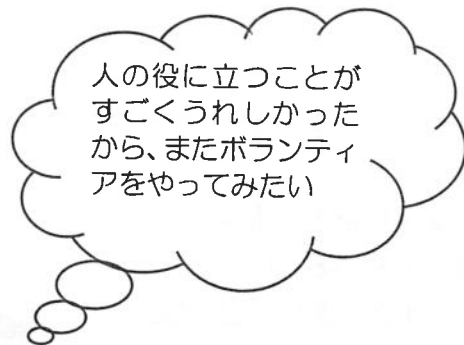
今年も7月から9月にかけて、夏のボランティア体験プログラムを実施しました。市内の福祉施設や校区福祉委員会で50のプログラムが実施され、小学生・中学生・高校生を中心にのべ107名の方が参加されました。



高齢者施設で利用者とゆっくりお話



障害者施設の利用者と地域のお祭りに参加



人の役に立つことが
すごくうれしかった
から、またボランティ
アをやってみたい



高齢者のための
ちょっとした工夫
に僕は感動した。



保育所で子どもたちと遊ぶ



校区の子育てサロンで大活躍



ボランティア受入れ施設研修会

6月24日(月)、豊中市すこやかプラザでボランティア受入れ施設研修会を行い、19施設・23名の方にご参加いただきました。講師の後藤先生からは、ご自身がボランティアコーディネーターを経験されたときの失敗談やそこから学んだこと、ボランティアを受け入れる意義についてのお話がありました。その後、参加者同士の情報交換が行われました。参加者からは、「ボランティアを受け入れる目的をしっかりと持つことの大切さがわかった」「マニュアルやオリエンテーションの仕方などを見直していきたい」といった感想があり、今後の施設でのボランティア受け入れに生かしていただけるような研修となりました。



講師：大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 福祉課長兼相談支援専門員
元施設ボランティアコーディネーター 後藤 光弘さん

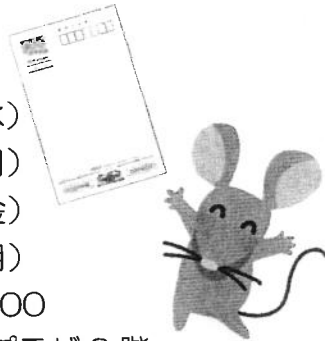
<今後の予定>

●年賀状ボランティア

日時：11月13日(水)
18日(月)
22日(金)
25日(月)

10:00~16:00

場所：豊中市すこやかプラザ2階



●災害支援に関する研修

日時：1月18日(土)

10:30~12:00

場所：すてっぴホール



●第27回豊中ボランティアフェスティバル

日時：2月15日(土)

10:00~16:00(予定)

場所：豊中市立文化芸術センター

※市主催「あすの地域福祉を
考える市民のつどい」と同時
開催。(小ホールにて午前中のみ開催)



<ボランティアカフェ>

「ボランティアカフェ(通称:ボラカフェ)」
は、市社協登録ボランティアグループにご
協力いただき、大勢の方に楽しんでい
ただいております。

ボラカフェは今年で10周年!

ぜひ、一度のぞいてみてください。

みなさまのお越しをお待ちしております。

★1杯100円(お菓子付き)

日時：第1月曜

第2火曜・木曜

第4金曜

13:30~15:30

※場所：ボランティアセンター
ぷらっと



お気軽にお越し
ください♪



<登録ボランティアのご案内>

ボランティアセンターにボランティア登録しませんか?

登録していただくと、毎月月初めに『ボランティア募集』をそれぞれのご自宅にお送りさせていただきます。『ボランティア募集』では、豊中市社協のイベントや、現在募集しているボランティアの情報をお伝えしています。

登録は、豊中市社協ボランティアセンターの窓口にて受付しております。登録用紙に必要事項を記入するだけで簡単に登録していただけます。

ボランティアをはじめてみませんか。皆様の登録を心よりお待ちしております。



<令和元年8月豪雨災害義援金、令和元年台風第19号災害義援金>

令和元年8月に発生した豪雨災害、令和元年台風第19号に伴う災害において、義援金を受付しております。
募金箱設置場所：ボランティアセンター「ぷらっと」、地域福祉活動支援センター(北丘、高川、庄本、服部、東豊中、蛍池)、福祉の店「なかま」、中豊島介護サービスセンター、びーの×マルシェ
ご協力お願いいたします。

編集後記

台風と猛暑日の続いた平成の時代は終わったのに、令和になっても台風が多く発生しています。平成が台風を連れて行ってくれたら良かったのですが、まるで令和に台風だけ置き忘れられてしまったかのようです。令和には、忘れていった平成の形見はもうありません。令和が災害の少ない時代であることを祈るばかりです。

平成に絶対負けないように、令和でも明るく元気にボランティア活動を頑張っていきたいです。
(豊中アッシー)